

# 地域における琉球銀行

## 地域とともに

### 社会貢献活動を展開

りゅうぎんは、社会貢献活動も地域金融機関にとっての重要な役割と考え、各地域での清掃活動や諸行事への参加、福祉や環境保全活動への助成など、さまざまな活動に取り組んでいます。

また、公益信託代理店として、社会福祉活動に関わる法人および団体を助成する「宇流麻福祉基金」「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の運営に携わっています。



「脳文庫」へ本とビデオを贈呈

### りゅうぎんユイマール助成会

りゅうぎんの役職員による募金と同額の銀行からの寄付金を基金とする「ユイマール助成会」を運営し、地域の福祉活動や環境保全活動を支援しています。平成5年6月の設立から、これまでの助成実績は144件、9,180万円となっています。

(平成15年5月末現在)

ユイマールとは、沖縄の方言で「相互助け合い」を意味しています。

### 「小さな親切」運動の推進

昭和61年2月より、「小さな親切」運動の沖縄県本部事務局を琉球銀行内に設立しています。活動内容としては「小さな親切」運動実行章の贈呈のほか、行員やグループ会社職員が団体会員となり、「クリーン作戦」などの環境保全活動などに取り組んでいます。



「小さな親切」運動クリーン作戦



てだこ福祉作業所へパソコンを贈呈

### リユースパソコン100台を寄贈

りゅうぎんは、日本アイ・ビー・エム株式会社とマイクロソフト株式会社が取り組んでいる「リユースパソコン寄贈支援プログラム」に協力し、当行で使用したパソコンを同プログラムに100台提供いたしました。

「リユースパソコン寄贈支援プログラム」とは、企業・団体から提供された中古パソコンを地元の技術会社が日本アイ・ビー・エムとマイクロソフトの協力を得て再生し、その再生パソコンを地域の福祉施設や教育施設などの非営利団体に寄贈するものです。

### 公益信託による社会貢献(信託代理店業務)

りゅうぎんでは、公益信託代理店として、社会福祉に関わる法人および団体を助成する「宇流麻福祉基金」「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の運営に携わっております。

「宇流麻福祉基金」

(助成実績 49件、2,130万円平成15年7月1日現在)

「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」

(助成実績 45件、2,472万円平成15年7月1日現在)



公益信託宇流麻福祉基金助成金授与式

## 「りゅうぎん紅型デザイン公募展」を開催

沖縄県の伝統工芸の一つである紅型の振興と若手工芸家の育成ならびに紅型デザインの新しい領域を追求していくことを目的に、「りゅうぎん紅型デザイン公募展」を毎年開催しています。応募作品は展示会で発表するとともに、入賞作品については当行のカレンダーや通帳、広報物などに広く活用しています。



第11回りゅうぎん紅型デザイン公募展表彰式



第5回りゅうぎんふれあいコンサート組踊「肝高の阿麻和利」

## 「りゅうぎんふれあいコンサート」を開催

「りゅうぎんふれあいコンサート」は、音楽に触れる機会の少ない障害者の方々や地域の皆さまへの芸術鑑賞機会の提供、ならびに県内の芸術活動の活性化を目的に開催しています。平成14年度は、与勝地域の中高生による組踊「肝高の阿麻和利」を上演しました。

## (財)りゅうぎん国際化振興財団

りゅうぎん国際化振興財団は、沖縄の国際化に寄与することを目的に、「観光リゾート国際セミナー海外研修」、「沖縄の社会・経済を日米2カ国語で学ぶ国際教養講座」の開催、和英併記の「沖縄観光ガイド」、「沖縄の民話」、「沖縄社会経済要覧」の異文化交流出版など、数多くの自主事業を実施しています。また、内外の国際交流事業を広く助成するほか、南米日系人子弟の沖縄への「ルーツを探る旅」を共催支援しています。



琉球銀行  
地域における

## 「小学生バレーボール大会」を開催

平成14年12月、「りゅうぎんカップ第25回沖縄県小学生バレーボール大会」が開催され、男子25チーム、女子74チームの計99チームが参加し、各会場で熱戦が繰り広げられました。りゅうぎんは、この他にも「りゅうぎん卓球スクール」を開催するなど、県内のスポーツ振興を支援しています。

## 各種イベントを支援

りゅうぎんは、「NAHA マラソン」や「全日本トライアスロン宮古島大会」、「沖縄全島エイサーまつり」などの各種イベントを協賛企業として支援しています。また、大小の地域イベントにも役職員がボランティアとして積極的に参加しています。



「NAHAマラソン」での給水ボランティア活動